

事務事業名	障害者生活訓練事業(障害者自立支援)		所属部局	保健福祉部	単位番号	5026				
	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	福祉課	課長名	小林正吾				
			所属担当	障害者自立支援担当	担当者名	河野慎治				
基本政策	基本計画	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 03	項 01	目 02	細目 040	細々目 13
政策	17	社会福祉の充実	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策	30	障害者福祉の充実								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		法令根拠							
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 障害者等に対して、日常生活に必要な訓練・指導等を行う。 市社協への委託による障害者向け料理教室、市聴覚障害者協会への委託による障害者のため野成人学級を実施している。			事業費の主な内訳 (24年度 決算見込)						
				項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
				委託料	400					
					計	400				

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	24年度活動実績	料理教室、障害者のための成人学級開催	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
	25年度活動予定	障害者のための成人学級開催			ア:開催回数	回
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市内の障害者		⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア:市内の障害者の数	人
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	日常生活に必要な知識、技術の訓練機会を得る。		⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア:料理教室への参加人数	人
					イ:成人学級への参加人数	人
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	障害者が自立した生活を送る		⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア:自立した生活が出来るようになった利用者数	人

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(次年度計画・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
		国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	600	400	120	120	120	120		
		事業費計(A)	千円	600	400	120	120	120	120		0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1		
		延べ業務時間	時間	10	20	20	20	20	20		
		人件費計(B)	千円	40	79	79	79	79	79		0
		(A)+(B)	千円	640	479	199	199	199	199		0
	活動指標	ア:回		30.0	26.0	8.0	8.0	8.0	8.0		
	対象指標	ア:人		3,914.0	3,914.0	4,000.0	4,100.0	4,200.0	4,300.0		
	成果指標	ア:人		383.0	357.0	150.0	150.0	150.0	150.0		
	上位成果指標	ア:人									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成18年度より障害者自立支援法に基づく市町村地域生活支援事業として市実施要領により実施。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか?また、今後の予測は?	障害者が地域で生活するためには料理の技術だけが必要ということではないが、継続して実施している。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	料理教室の実施だけでは、日常生活に必要な訓練ではないのではないか、という声があった。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容↓】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	自立支援協議会定例会にて「障害者の日常生活に必要な訓練・指導とは？」というテーマでグループワークを行い、アイデアを募った。これをもとに新たな実施内容の追加と、既存の料理教室の縮小を検討。障害者のコミュニケーション特性に配慮しながら日常生活、社会生活に必要な知識を学ぶ「障害者のための成人学級」を新たに開料理教室は継続しない方向となった。成人学級は当事者団体である南アルプス市聴覚障害者協会に委託。初年度であり設置手話通訳士を中心に事業運営の後方支援を行った。
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	

事務事業名	障害者生活訓練事業(障害者自立支援)	所属部	保健福祉部	所属課	福祉課
-------	--------------------	-----	-------	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 日常生活に必要な知識、技術を得ることを通じて、障害者が住みなれた地域で生活できるよう支援するものであり、福祉の充実にむすびついている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 障害者自立支援法に基づく市町村地域生活支援事業であり、市が予算化して実施する必要がある。民間法人等に委託して実施している。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 施設から地域へ、福祉から就労へという流れを踏まえ、障害者が地域で自立した生活を送ることができるよう支援する上では、日常生活に必要な訓練等を行い、生活の質的向上を図ることは必要である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 日常生活に必要な訓練としては、料理以外の内容も検討する必要があった。成人学級については、より広く障害者の学習ニーズを汲むよう務める必要がある。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 委託料に応じて最小限の予算で開催回数を設定しており削減余地はない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 社会福祉協議会等へ業務委託しているため人件費はほとんどかからない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 すべての障害者に対応しているため公平である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	障害者が地域で生活するうえでは、衣食住・就労・金銭管理・移動手段などの場面において、様々な課題に直面するものであり、必要な訓練として、料理教室という既存の形態のみでは十分とは言いがたかった。既存の利用者の意向にも配慮しながら、より良い実施方法を検討する中で、自立支援協議会で提起された意見をもとに「障害者のための成人学級」を新たに実施することとなった。限られた予算であるが、他の制度で対象とならないような訓練ニーズにきめ細かく応えるメニューとすることが望ましい。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について	(5) 事務事業優先度評価結果																					
①「障害者のための成人学級」について周知を強化し、内容の充実を図る。 ②	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>①</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	②	コスト削減優先度評価結果	①																	
成果優先度評価結果	②																					
コスト削減優先度評価結果	①																					
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策																						
①成人学級でどのようなことを学びたいか、聴覚障害者に限らず広く市内の障害者の意見を取り入れるような手立てが必要。参加者へのアンケート実施等を行なう。 ②																						